

再編後の大甕・太田地区における 教育環境の特色のイメージについて

1.現状の大甕・太田地区の教育環境の特色について

(1) 現在の大甕・太田地区の取り組み例

大甕小学校の学校紹介



【児童数・学級数】

(令和8年5月1日時点)



学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援	合計
児童数	15	15	17	20	16	12	5	100
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8

出典：大甕小学校 令和8年度学校要覧

【教育目標】

- ・ 思いやりのある子ども
- ・ 進んで学ぶ子ども
- ・ 健康でたのもしい子ども
- ・ 大甕（南相馬）を愛する子ども
- ・ 挑戦する子ども

【目指す児童像】

- ・ 互いに認め合い、誰にでも思いやりを持って接する姿
- ・ 進んで学習に取り組み、友だちと共に学び合う姿
- ・ めあてをもって意欲的に運動し、進んで体づくりをする姿
- ・ 地域に関心を持ち、そのよさに気づき、進んで働きかける姿
- ・ 「やってみよう」という意欲をもって、目標に向かって挑戦する姿

【学校経営方針等】

- ・ 豊かな心の育成と
互いに認め合う集団づくり
- ・ 確かな学力の定着
- ・ 生きぬく力の基盤となる
健やかな体の育成
- ・ 信頼された開かれた学校づくり

【具体的な取り組み(一部)】

- ・ キャリア教育の推進、道徳・人権教育、生徒指導の充実(自己肯定感の醸成) 幼・小連携接続(スタートカリキュラム)
- ・ 基礎基本の定着、ICT機器・AIの効果的な活用、「南相馬ふるさと至誠学」の実践
- ・ 運動身体づくりプログラム、望ましい食・生活習慣の定着、防災・安全教育
- ・ 積極的な情報発信、学校評価の充実、カリキュラム・マネジメントの確立

1.現状の大甕・太田地区の教育環境の特色について

大甕小学校の取り組み（一部）



全学年で行う「緑化活動」（異学年交流）



大甕幼稚園との交流
1年生が作ったおもちゃで遊ぶ園児たち



地域の皆さんの協力で行った
「サツマイモの収穫体験」

「ふるさとクラブ」による法螺貝の演奏
校内発表、地区文化祭でも発表



1.現状の大甕・太田地区の教育環境の特色について

太田小学校の学校紹介



【教育目標】

- ・ 進んで学ぶ子ども
- ・ 思いやりのある子ども
- ・ たくましい子ども

【目指す児童像】

- ・ 自ら考え、判断し、進んで表現する子ども
- ・ 思いやりの心をもって人と関われる子ども
- ・ めあてをもって健康と安全の維持増進に努める子ども

【学校経営方針等】

- ・ 小規模・少人数のよさを最大限に生かす教育活動の推進
- ・ 児童一人一人の確かな学力向上のための、個に応じたきめ細やかな指導
- ・ 認め合い高め合う仲間づくりを通して自己肯定感を高め、たくましく生き抜く力をはぐくむ教育活動
- ・ 健康・安全な生活を送ることができる知識と実践力
- ・ 保護者や地域と連携し、地域を担う人材としての人づくり

【具体的な取り組み(一部)】

- ・ こどもに寄り添った「こども主体」の学級経営、全職員連携した教育活動、保護者・地域と協働・連携した教育活動
- ・ 主体的・対話的学びの充実（「一斉指導」と「ひとり学び」）、ICT機器の活用とプログラム教育、家庭学習の充実・習慣化
- ・ 道德教育の推進、小小や小中連携を生かした学習・生徒指導、キャリア教育の推進
- ・ 学校行事と連携した体力づくり、食育指導の推進、安全教育の充実
- ・ 学校評議員やいじめ問題対策連絡協会との連携、地域人材を生かした教育活動

【児童数・学級数】

(令和8年5月1日時点)



学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援	合計
児童数	6	4	2	4	11	8	0	35
学級数	1	1		1		1	0	4

出典：太田小学校 令和8年度学校要覧

1.現状の大甕・太田地区の教育環境の特色について

太田小学校の取り組み（一部）



地域合同で開催する運動会
全校児童が参加する鼓笛隊



「南相馬市の魅力」について探究
地域の方へのインタビューや
インターネットでの情報収集



地域の皆さんの協力で行った
「稲作体験」、「いちご狩り」



祖父母交流学习

1.現状の大甕・太田地区の教育環境の特色について

原町第三中学校の学校紹介



【生徒数・学級数】

(令和8年5月1日時点)

学年	1学年	2学年	3学年	特別支援	合計
児童数	26	16	26	0	68
学級数	1	1	1	0	3



【教育目標】

「自律」・「寛容」・「挑戦」

「自律」・・・自ら考え、判断し、責任ある行動をとること。

「寛容」・・・多様性を尊重し、広い視野で物事を考えること。

「挑戦」・・・未知の体験を通して可能性を伸ばすこと。

【目指す生徒像】

- ・ 自ら考え、判断し、責任ある行動をとる生徒
- ・ 多様性を尊重し、広い視野で物事を考える生徒
- ・ 未知の体験を通して可能性を伸ばす生徒

【学校経営方針等】

- ・【教科】「自己調整学習」の確立とICTの高度活用
- ・【道徳】広い視野から多面的・多角的に考える力の育成
- ・【総合】自ら問いを立て、探究し、最適解を生み出す力の育成
- ・【特活】自分達で考え、決定し、実行する力の育成
- ・【日常生活】自分の心と体をマネジメントする力の育成

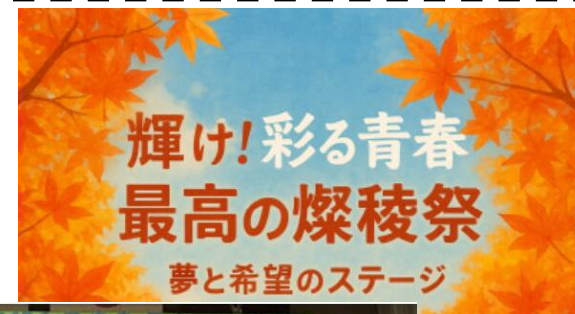
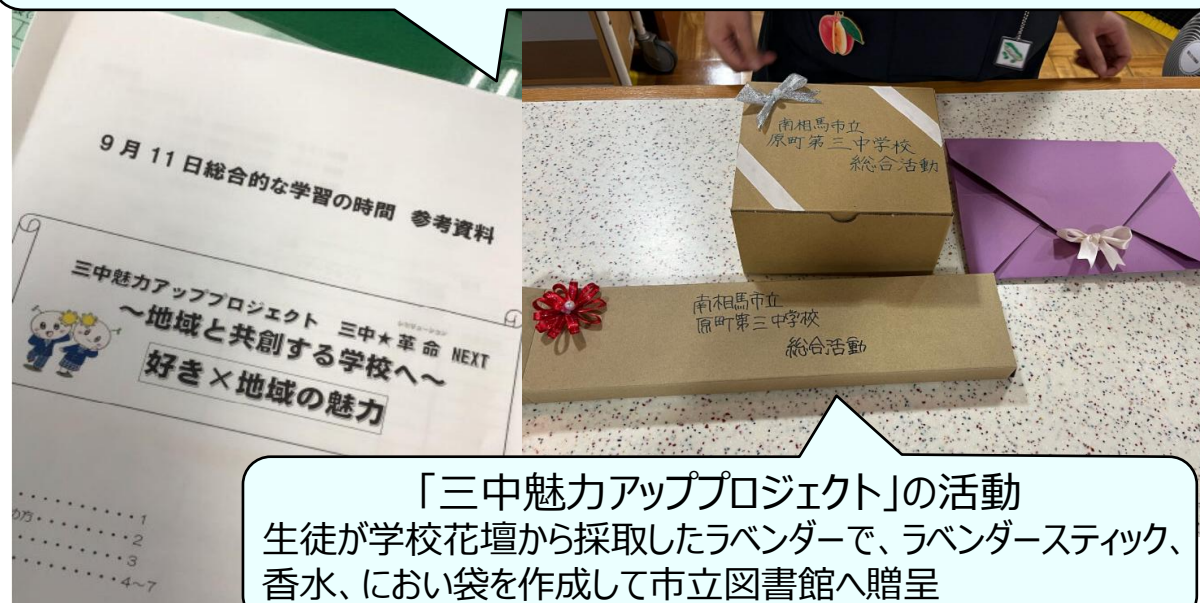
【具体的な取り組み(一部)】

- ・「伝える→獲得する」への意識の変革、AIドリル等を活用した学びの調整、自己の変容を自覚し、学びを調整する振り返りの充実
- ・多様な価値観に触れる授業、郷土愛を育む授業(報徳仕法)、全校道徳の実施
- ・多様な他者との対話で学びを深める姿勢、至誠学や体験活動を組み込んだ探究
- ・「課題→話し合い→合意形成→実施→振り返り」の充実、PDCAサイクルを生かした生徒会奉仕委員会の活性化
- ・学習とメディアのタイムマネジメント、食事・睡眠・運動のバランスを重視した指導

1.現状の大甕・太田地区の教育環境の特色について

原町第三中学校の取り組み（一部）

「三中魅力アッププロジェクト 三中☆革命（レボリューション）NEXT」
生徒自身がテーマを設定し、原三中の魅力を向上・発信



タブレットや電子
黒板などを活用
したICT教育



1.現状の大甕・太田地区の教育環境の特色について

(2) 保護者が考える大甕・太田地区の教育環境の特色の例

※意識調査の結果
から抜粋。

少人数であることの良さを生かした きめ細かな指導

- 「良い影響を与えている点」「さらに充実してほしい点」として非常に高い支持を得ている。
- 少人数教育のメリットを生かした個別指導が高く評価されている。

学校・地域をフィールドとした 探究学習

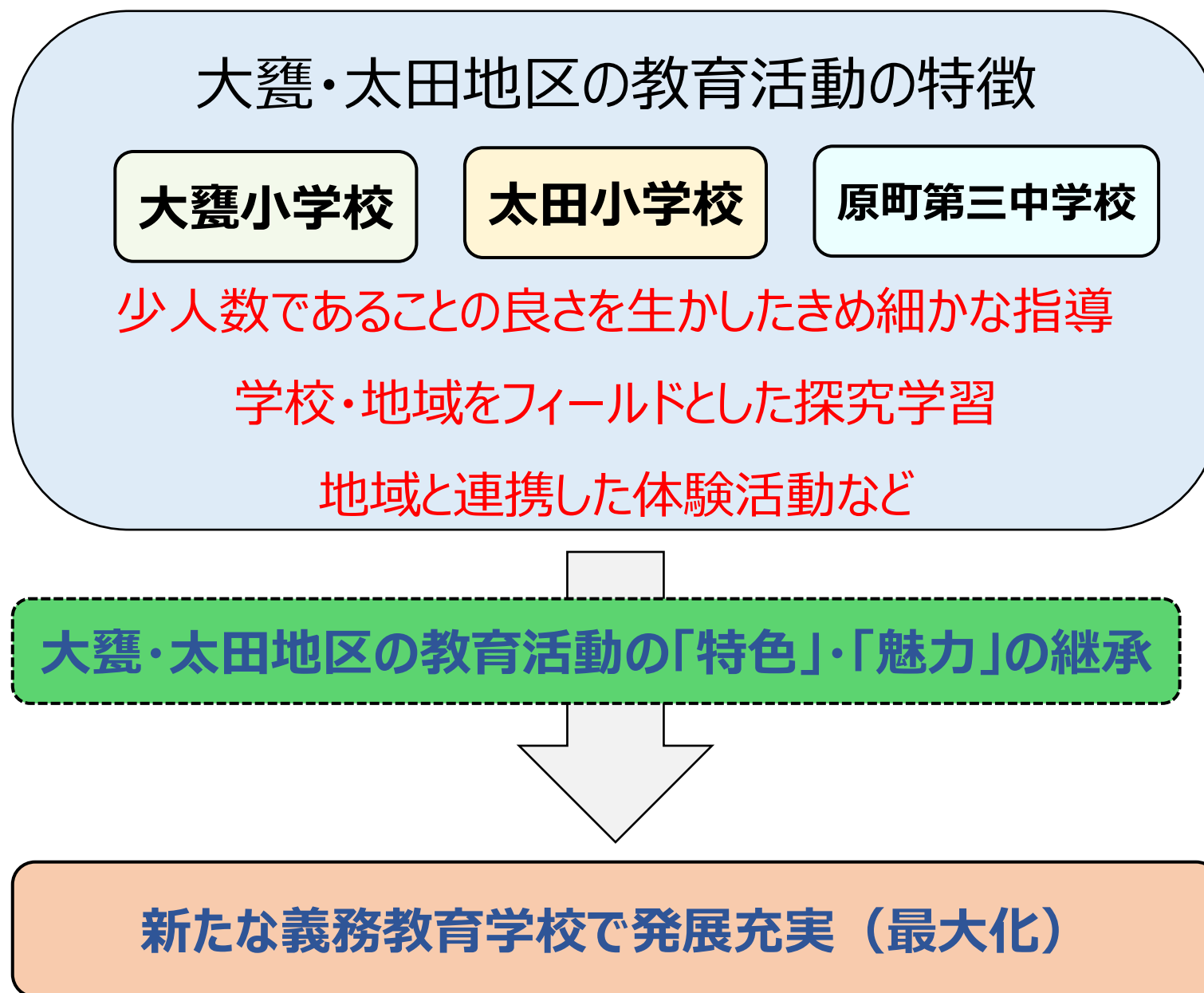
- 「さらに充実してほしい点」として高い支持を得ており、課題解決能力や主体性の土台作りとして期待されている。
- 地域の特色のある産業等と関わりから気付きや学びを得る機会を求める声あり。

地域と連携した体験活動

- 「良い影響を与えている点」として高い支持を得ている。
- 「地域の行事等の幅広い交流が良い」「野菜作りや田植えなどの体験ができる」など、特色や魅力として多くの声が寄せられている。

1.現状の大甕・太田地区の教育環境の特色について

(3) 新たな義務教育学校の教育



2. 大甕・太田地区の教育環境の特色を継続・発展していくための取り組みの方向性について

(1) 特色を継続・発展していくための取り組みの方向性

現在のきめ細かな指導体制を維持しながら、ICTを活用した先進的な学びや探究的な学習の充実など、特色ある教育活動の具体的な内容について検討します。

地域の歴史・文化・産業や人材を生かした「ふるさと学習」などを通じ、地域に根ざした特色ある教育活動の展開を検討します。

※これらの事項については、フェーズ2の段階で、保護者・地域の皆様とともに、新しい学校にふさわしい教育内容の具体化を検討します。

2. 大甕・太田地区の教育環境の特色を継続・発展していくための取り組みの方向性について

(2) 特色を継続・発展していくための取り組みイメージ

きめ細かな指導の強化	探究学習の推進	地域との連携深化
【個別最適な学び】 一人ひとりの理解と成長に寄り添う ・少人数の良さを生かし、学習状況や興味・関心に応じたきめ細かな支援を行う。 ・小学校から中学校までの9年間の学びの記録を共有し、一人ひとりのつまづきを支え、得意なことをさらに伸ばす、継続的な支援を行う。	【地域のひと・もの・ことに会う】 本物に触れて問いを深める ・農業者、事業者、地域で働く方々を講師として招き、多様な生き方や働き方に触れる。 ・地域に息づく伝統や文化に出会い、自ら学びを深める探究的な活動を通して、故郷への愛着や誇りを育む。 ・地域産業・新しい技術に関わる人々との交流を通して、気づきや学びを得る機会を生み出す。	【まち全体が学びの場】 地域の方々とともに育てる ・地域運動会、夏祭り、文化祭、餅つきなど、地域のつながりを教育活動に生かす。 ・地域の方の特技や経験を生かし、外部講師のような仕組みを検討する。